

平成 30 年 12 月 1 日 発行  
公益財団法人  
中国四国酪農大 学 校  
電話 (0867) 66 - 3651  
FAX (0867) 66 - 3652  
E-mail info@rakudai.ac.jp  
http://www.rakudai.ac.jp

# 学 園 だ よ り



# 巻頭の言葉

校長 山田 義和  
やま だ よし かず



7月から10月にかけて西日本豪雨災害、台風20・21号被害、北海道大震災、再び台風24号被害と立て続けに日本を襲った災害により、大きな被害を受けられた被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

今なお多くの人たちが避難生活を余儀なくされているとお聞きしますが、一日も早い復興をお祈り申し上げます。

自然の猛威を見せつけられた厳しい状況のなかでの報告となりますが、今年の学校行事は3月23日に第52期生23名の卒業証書授与式が多くのこ

来賓のもと、盛大に挙行されました。今年マイナス16℃

を記録するなど厳冬となりましたが、積雪は少なく、雪のない中での挙式となりました。続いて肌寒さが残る4月6日に、第54期生21名の入学式が、ご両親列席のもとに盛大に挙行され、新入生は晴れやかな顔に希望と少しの不安を覗かせていました。

2年生の校外研修ですが、全員3か所の先進農家研修を今年からは1〜3か所に変更したことにより、校内に残る学生が多くなっています。

当大学の明るい話題として、第一に昨年12月20日に「カヤベ セイエラ ブラクストーン ソル」が体型審査において90点を獲得し、当大学で2頭目のエクセレント牛となりました。

した。

第二に6月4日付けで、第一牧場が農場HACCP認証農場に認証されました。第二牧場も維持審査をクリアして認証を継続しており、2牧場共に認証農場となりました。

第二牧場が認証農場となったから、実習において農場HACCPシステムの実践に取り組んできましたが、今年からは新たに品質管理学の講座を開設し、GAPを含めた知識や技術を教授する最先端の教育施設としてレベルアップを図ることとしています。

第三に生乳出荷先であるおかやま酪農業協同組合が実施している乳質改善事業で第二牧場が昨年に引き続き優秀表彰を受け、11年連続となりました。さらに第一牧場も3年ぶりに優秀表彰を受けました。

当大学は、このような取り組みを通じて、学生、酪農関係業界、消費者等にとって魅力のある学校づくりを進めていますので、引き続きご支

援とご協力をよろしくお願ひします。

結びに、学生たちは、卒業生の皆様の背中を見ながら夢の実現に向けて頑張っていますので、地域酪農の牽引役として引き続き活躍されることを期待しています。

これから蒜山は最高の季節を終え、厳しい季節へと向かいます。春に校長室を訪れた方から「ここにいれば寿命が延びるのでは？」と言われ、「冬がなければ」と答えましたが、冬の蒜山もまんざらではないと感じています。

蒜山に來られた際にはぜひ本校にお立ち寄りください。お待ちしております。



# 職員紹介

校長 山田義和  
 副校長 木曾田 繁  
 (総務課長兼務)

## 総務課

係 長 有富英美

## 教務科

教務課長 関 哲生  
 (第一牧場長兼務)  
 主任 高見奈々  
 主任 田中 恵  
 臨時職員 法花千恵美  
 調理技術員 谷口育子  
 臨時職員 西田 都  
 臨時職員 池田淑子

## 第一牧場

臨時職員 樋口照夫  
 助手 児玉泰平

## 第二牧場

場 長 芦田草太  
 技 師 村田崇浩  
 技 師 山田祐季

## 農場(圃場)

場 長 長綱則之

# 酪大ニュース



○農場HACCP認証

酪農の教育現場として、生産物の安全や品質の管理にポイントをおいた確固たる指導体制を構築することや、職員・学生ともに当番制で管理している中で、安定した生産体制を継続することを目的として、従前から農場HACCPの認証取得に取り組んで参りましたが、昨年1月の第2牧場の認証に引き続き、本年6月に第1牧場も認証されました。

農場HACCPシステムの運用により、生乳の品質管理や乳牛の健康に影響を及ぼす問題を未然に防いだり、トラブルの早期発見、迅速対応ができるようになり、昨今では、生乳品質を安定的に維持できています。

## ○生涯生産乳量10万kg超

カヤベ ケネディ ローズサムソン号(ホルスタイン H 19. 8. 22生 7産)の前産(6産)までの生涯乳量87,

813kgに今産(7産)半ばでの累計乳量(7月時点16,848kg)を加え、生涯生産乳量が10万kgを超えたことが分かりました。



サムソン号

サムソン号は本農場における最高齢のホルスタインです。娘牛には本校初のエクセレント牛や中国BW未經産チャンピオン牛などがおり、第1牧場の牛群改良に多大な貢献をしてくれました。また、これまでに300人あまりの学生や研修生の搾乳実習に供されてきました。10歳を超えて乳房靱帯が少々緩くなったものの、肢蹄・体軀は未だ若々

しく、年末には8産目を予定しており、今後も活躍を期待しております。

## ○乳質表彰受賞

高品質な生乳を生産する技術を伝えるべく、第2牧場では昨年度同様、体細胞数9万個/ml以下を目標と設定し、実習に取り組んでいます。乳量増による管理の難しさからか、思うような成績が得られなくなってきたおり、指導方針、牛群管理方針の見直しを継続しています。そのような中で、学生には目標を達成する努力や工夫を伝えていければと考えています。出荷乳については、例年通り評価をいただいております。今年も岡山酪農業協同組合様より、乳質表彰を受けることができました。乳質表彰については、11年連続受賞となり、学生の自信につながるのと同時に、維持することの難しさも伝わっています。期待しています。

○牧草生産について

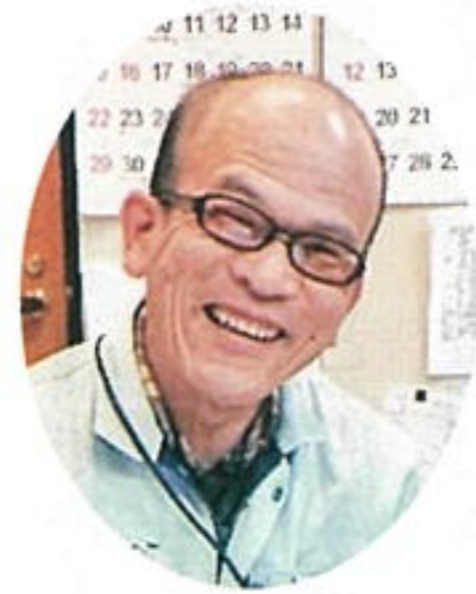
本年度は、天候にもある程度恵まれ、比較的順調に収穫作業が進められました。また、第2牧場では本年度から牧草の収穫回数を増やし、より高たんばく牧草の収穫を目指しています。その結果、収穫時期によっては、2番草でもよいもので粗タンパク含量20%を超えるものも収穫されており、草地利用としては、この方向性でより良いものを多く収穫することを念頭に進めていきたいと考えています。

○遺伝情報の有効利用

本年度から、有望なジャージー仔牛の生産を目的として、子牛のゲノム検査を実施しています。結果として、有望な仔牛もいればそうでない個体も当然存在しています。が、これらの情報を整理して、よりの確な品種改良を進め、学生に数値を目で確認してもらいながら、後継牛の作出を進められればと期待しています。

職員異動のお知らせ

今年度より、秋山前副校長が岡山県営食肉地方卸売市場へ異動され、後任に木曾田繁氏が着任されました。



木曾田繁(きそだ しげる)

です。家は岡山県の真ん中、吉備中央町にあります。この春から単身赴任で久々の独身寮住まいをしています。前回は新採の時で、昭和六十一年から平成元年までの三年間、第二牧場でお世話になりました。三十年ぶり二回目の酪農大学校です。

趣味はウォーキングと山を走るトレイルランニングです。時間は人一倍かかりますが、完歩、完走の達成感にはまっています。

これまでは畜産研究所等で主に和牛の仕事をしていたのですが、酪農は久々です。昔を思い出しながら、搾乳やいろいろな作業にも関わり、少しでも役に立てるよう頑張ろうと思います。よろしく願います。

新職員ごあいさつ

昨年度本校を卒業した第53期生の児玉泰平さんが、第一牧場助手に着任しました。



児玉泰平(こだま たいへい)

いと申します。出身は神奈川県です。

私は酪農に携わる中で、目標にしていることがあります。それは、消費者に酪農の魅力や必要性を伝えていき、認識してもらうことです。それにより、酪農家戸数の減少や後継者不足、牛乳の消費量の減少など様々な問題を解決できるのではないかと考えています。そして、私のような考え方を学生たちに広め、育成していくことも目標の一つです。

少しずつですが、この先日本の酪農の未来を支えてくれる人材になれるよう頑張っていきたいと思えます。よろしく願います。



CHUGOKU SHIKOKU COLLEGE OF DAIRY FARMING

平成  
**31**年度

# 学生募集

■推薦入試

受付期間:平成30年10月1日~10月15日

試験日:平成30年10月26日(岡山会場)  
10月29日(本校会場)

■一般1次募集

受付期間:平成30年11月12日~11月22日

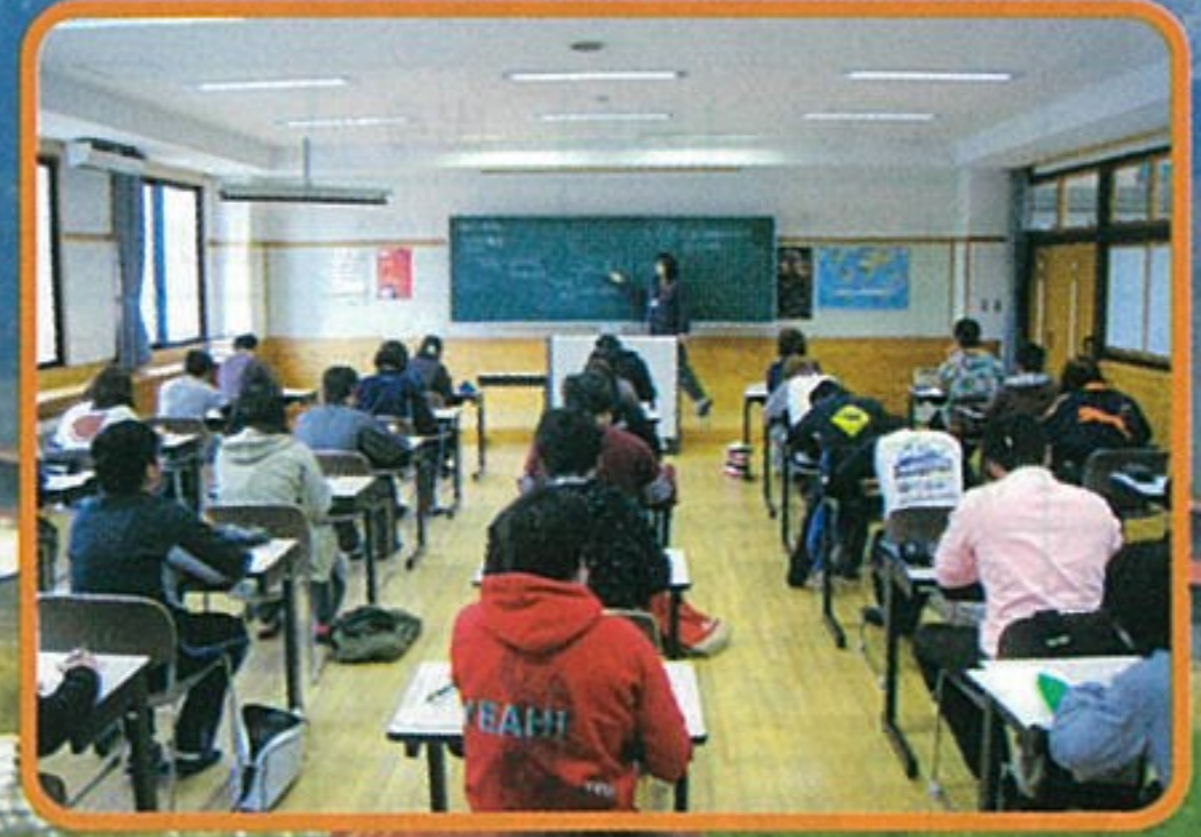
試験日:平成30年12月3日

■一般2次募集

受付期間:平成31年2月1日~2月18日

試験日:平成31年3月4日

牛たちとのふれあい、  
仲間との楽しい時間。  
大自然の中、一生に残る  
2年間を過ごしてみませんか？



## 平成30年 オープンキャンパス

- 第1回 7/23(月)~24(火)
- 第2回 7/26(木)~27(金)
- 第3回 8/8(水)~9(木)
- 第4回 8/16(木)~17(金)
- 第5回 8/20(月)~21(火)
- 第6回 8/23(木)~24(金)

2年間で酪農経営力を  
身につけます!

酪農に必要な資格が  
取得できます!

奨学金の制度も  
あります!

公益財団法人

# 中国四国酪農大学校

SEARCH!

中国四国酪農大学校

GO!

〒717-0604 岡山県真庭市蒜山西茅部632 TEL (0867) 66-3651 FAX (0867) 66-3652